

第2回流山市市民参加推進委員会 議事録（概要）

- 1 日 時 令和2年6月19日（金）午前10時～正午
- 2 場 所 流山市役所第2庁舎3階 302会議室
- 3 出席委員 吉永委員、和田委員、秋山委員、森委員、坂井委員、高山委員
- 4 欠席委員 無
- 5 傍聴人 0名
- 6 事務局 斎藤コミュニティ課長、安達係長、香月主事
- 7 議題
- (1) 令和元年度市民参加条例対象事業の評価について
- ア 流山市総合計画（基本構想・基本計画）
 - イ 流山市第4次男女共同参画プラン
 - ウ 子どもをみんなで育む計画～流山市子ども・子育て支援総合計画～
 - エ 緑の基本計画事業
 - オ 流山市新設中学校建設事業
 - カ 一般廃棄物処理の減量及び適正処理等に関する条例の一部を改正
 - キ （仮称）おおたかの森児童センター整備基本方針（案）
 - ク 流山市教育振興基本計画
 - ケ 第2次流山市健康づくり支援計画～健康増進計画・食育推進計画・歯と口腔の健康づくり推進計画・母子保健計画・自殺対策計画～
 - コ 流山市景観条例の一部を改正する条例、流山景観計画の改定
 - サ 都市計画マスターplan進行管理事業
- (2) その他
- 8 議事内容

委員長

それでは、ただいまから、流山市市民参加推進委員会を開催する。
本日の出席はただいまのところ全員出席である。よって定足数に達している

ので、会議は成立していることを報告する。

まず、本日の議事の進行について、事務局から説明する。

事務局

本日は、令和元年度の評価シートの取りまとめについて、後半は次回の第3回市民参加推進委員会のことについて御審議いただく。

委員長

それでは、「(1)令和元年度市民参加条例対象事業の評価」について。事務局から説明する。

事務局

評価シートについては、各委員から提出いただいた評価を基に、委員会としてのたたき台を作成した。

市民参加の方法の選択について、市民参加の方法のスケジュールの妥当性について、事業の内容や市民参加の仕組みに対する市民等への情報提供についての3項目のA～Cの3段階評価は、各委員の評価でもっとも多い評価を軸に、委員会の評価を記載した。総評のA～Cの評価については、各委員の平均値で評価しつつ、～の評価を鑑みて調整をした。

本日、特に審議していただきたい点については、「総評」及びコメントの内容かと思う。

今回作成した評価シートは、今年度作成する答申の附属資料として全庁に配信及び市民向けに公表する。

委員長

対象11事業の評価シートについて審議する。特に意見の分かれたところや、コメントについて審議するのでご意見のある方はどうぞ。

【流山市総合計画（基本構想・基本計画）】

委員長

総評はA+であるが意見のある方はどうぞ。

何年も評価をしている中で、最高評価だがいかがか。

副委員長

今後のことを考えると総評A+でいいと思うがどうか。

A 委員

今回は全体的に各担当課が今までより努力されていて高評価だったが、もう一度各事業の評価を確認してから評価するのでいいと思う。

委員長

流山市総合計画は各事業の評価後に決定する。

【流山市第4次男女共同参画プラン】

委員長

総評はA - であるが意見のある方はどうぞ。見る限りで手続きに問題はないように思える。

副委員長

中の上くらいで落ち着いている雰囲気はある。

A 委員

比べてしまうと1つ前よりは劣るのでB +かと。

B 委員

評価は相対評価じゃなく絶対評価ということだったと思うがこの場で評価を変えて良いのか。

委員長

最終的には何%がAとかの話じゃないので事業に即して考えてもらえれば。

A 委員

私はBを付けたがもう少し何かあってもよかったですと思う。

委員長

この事業に特化した取り組みが足りない。

C 委員

私も絶対評価にすべきとは思うが、A評価にする要素がない。

委員長

これはB+。

【子どもをみんなで育む計画～流山市子ども・子育て支援総合計画～】

委員長

総評はA。これもA+に値するか考えていきましょう。

市民参加の方法のスケジュールの妥当性についてのBが2名いる。

委員長

注文が出ているのが副委員長の子供の資料作成。

副委員

これは子どもが作っていなかった。よくやっていると思うが。今後に向けてという考え方である。

【緑の基本計画事業】

委員長

総評はA+。今回はかなり優秀。

B委員

ここはA+でいいのではないか。模範的な事業であった。

委員長

みどりの課はこれで決定。

【流山市新設中学校建設事業】

委員長

総評はB。こちらは芳しくなく、Cがついているものもある。

副委員長

説明会に関係地区の人だけを呼び、隣接の地区の人たちの参加していないような状況があるのは、将来的に事業が進んだ時に問題が生じる可能性があるので、皆が参加できる状況が良い。

委員長

Bが妥当だと思う。

C 委員

ヒアリングができないことについて、小学校建設の時は様々な手法でやっており、基本的なコンセプトは中学校も同じなので今回はやらなかつたというのはわからない。事前の質問の回答というのはかなり形式的である。

A 委員

隣接に住んでいるが聞こえてこない。小学校の時は回ってきたが中学校は何も回ってこなくて何をやっているのかという印象。小学校の反省点など踏まえてやるべきではと思い - 評価。

委員長

今話題になっているヒアリングをしていない、情報が不足しているというのをコメントにするべきか。

C 委員

ヒアリングなしというのはどうなのかと思うので、総括などのどこかで言及する必要があるかと。

B 委員

今回は制限や限界があったということをどこかで言及する必要はあるかと思う。

委員長

去年までと想定が違うのは考慮しなくてはいけないので、去年の評価と比べるのは個人的にはおかしいと思う。

副委員長

中学生である程度意見が反映されると将来的に市民に成長していく中で、市民教育が1つのバックスペースとして有効な手立てとしたほうが良いと思う。

委員長

ヒアリングの印象としては小学校でやつたから中学校はいいかと思える。
ここはB評価で。

【一般廃棄物処理の減量及び適正処理等に関する条例の一部を改正】

委員長

総評はB。クリーンセンターは評価が分かれており、Cがついているものもある。

副委員長

自分たちの反省の中で情報の与え方がまずかったか。その反省を生かすためにどうしたらしいか。例えばその事業を担当した人の何かにつながるような評価でなく、次の事業を進めていく上での参考になるべき評価をつけておく必要があると思う。今回反省していくと自分たちで思うならば、ということでC評価。

自分たちを評価したという意味でのAかもしれない。だがそのままにしているとだめになる。捉え方だと思う。次に進むという意味ではCにしておくのがいい。次にやっていくための評価だと思う。

A委員

私的にはB評価で、もう一步できると思いAではなくBで。高評価を付けていける方はどう思うのか伺いたい。

D委員

私はAを付けたがBでもいいと思う。

委員長

ここもAにするには問題があるという意味でクリーンセンターはBで。

【(仮称)おおたかの森児童センター整備基本方針(案)】

委員長

総評はB+。児童センターはAとBに分かれていて比較的評価は高いと思う。BといってもB+が多いので。

A委員

特に気になったのが審議会も1回で、意見交換会も1回。みなさんの関心があるので意見が集められるのはいいと思うが、その日だけの人がどうなのかと思いましてB+で。

委員長

今おっしゃったことがコメントにも書いてあり、審議会や意見交換会が1回

だけというのはマイナスポイントということで。

A 委員

複数回あつたら A や A + だったと思う。2 つとも 1 回だけなのが気になる。

委員長

それが A じゃなくて B + という理由。B ではなくて B + ということで。

【流山市教育振興基本計画】

委員長

総評は B + 。私的には指導課と生涯学習課の回答が課によって温度差があるように感じた。2 つの課でやっていて特殊なケースだと思うが、指導課のほうが前向きな気がする。

A 委員

学校の P T A など意見を聞いたのはいいと思うが、役員だけなのでそれをどうとらえるかというのが 1 つある。

C 委員

結果非公開でやった意味あるのか、やったこと自体はいいが一部分の人だけではどうなのかなと思う。

副委員長

P T A の意見交換会の事前質問をしたが指導課から返事がなかった。P T A 関係なので指導課から返事がほしかった。審議会資料など触れてないのが気になった。

委員長

以上を踏まえて B 評価でいいか。

【第 2 次流山市健康づくり支援計画 ~ 健康増進計画・食育推進計画・歯と口腔の健康づくり推進計画・母子保健計画・自殺対策計画 ~】

委員長

総評は A - 。市民参加の方法の選択については全員 A。

これはコメントも評価高いが完全に A にするにはもう少しやり方があるという意見もある。

A 委員

皆さんの意見をみると注目集めるために関心得られるための方法が書かれて
いるので A 評価で良いと思う

C 委員

市民参加の取り組みとしてはいいと思う。

委員長

これは A - で。

【流山市景観条例の一部を改正する条例、流山景観計画の改定】

委員長

総評は B。これは前に景観条例の資料をいただいている。

皆さんが書いている通り事業はしっかりやっているが市民参加という点では
物足りない印象がある。

副委員長

パブリックコメントではなく案の縦覧をやったということですが、法律用語
かと思い質問できなかった。なぜパブリックコメントという言葉を使わなかっ
たのかと思った。

事務局

事務局から補足させていくと、都市計画課のほうがこの市民参加条例が策定
される前から都市計画法で住民に意見を聞くことが規定されていて、都市計画
法と市民参加条例の両方を踏まえ今年は案の縦覧ということになった。

副委員長

案の縦覧ということで見るだけと捉えられたかと思う。

委員長

今回のこととは大きな話だと思う。他の法律や従来のやり方にすでに市民参加
が入っていた時に新たな市民参加のものを入れるのは矛盾になる。担当課から
するとかなり負担が増えるかもしれない。従来の手続きで市民参加的なもの
があるのに市民参加条例に沿ってやるのはどうかと思う。

また B 委員の意見にもあるが、本質的な意味は市民参加ではなくてアンケー

ト自体業者向けなので市民参加はなかなか難しいと思う。

B 委員

法律があり規定されていて、我々がしている市民参加とは違う気がする。そのやり方がベースになっている気がする。

A 委員

市民として外観は住んでいて目に入るもので様々な意見はあると思うが、条例になってしまふと意見が出しにくくなってしまう。

委員長

これはなかなか難しい案件だったと思う。

【都市計画マスタープラン進行管理事業】

A 委員

総評は A - でいいと思う。A + にならなかつた理由としては意見数が 0 というのがマイナスの評価になったと思う。

C 委員

オープンハウス 1 か所で市民の意見聞いたというのは来ている人の偏りは必ずあると思う。ショッピングセンターなどは流山の成長を肯定する人が集まっていると推測だが思う。オープンハウスはとてもいい案件であるが、ほんとにニュートラルな意見をもらう場合はショッピングセンターだけでなく旧市街や例えばお年寄りの集まる場所複数個所で実施できたらと思う。

委員長

私もその通りだと思う。

A 委員

高評価につながった点として今までやっていなかつたこと、例えばオープンハウスを試みたのは良いと思う。ただ、掘り下げていつたら A や A + にならないと思う。評価したい点はいろいろなことを試みている点。次回改善していってほしい。

委員長

新しい試みをしているのも評価しつつ A - で。

副委員長

都市計画審議会の諮問と答申が10日しかない理由をもう一度確認したい。

事務局

都市計画審議会に関してはこの市民参加推進委員会と比較すると、この委員会は2年間で1つの諮問に答申を出していくが、都市計画審議会はマスタープラン以外にも開発行為や都市計画に関わることあればその都度2年間の委嘱期間中に何十回も諮問を繰り返す。マスタープランももちろんそういう形で諮問を出して速やかに学識の方々に答申で出すらしいが、内容がボリュームあるので諮問としては10日前に出しているが、事前に3か月前に渡して内容を見ていてもし、意見があるなら答申のある時に出してくださいとしている。今回遅れてしまった理由はコロナウイルスの影響で最後の締めに当たる都市計画審議会ですが3月に実施できるかどうか判断できなかつたので、当初中止にしてしまったが結果やれた。伝達不足で最初は終了ではなく継続にしていた。

委員長

今のご指摘していただいた審議会の諮問答申の期間が10日間しかないというのは大事な点だと思う。審議会によってやり方が違うというのはそれでいいのかというの大きな問題だと思うので、意見交換会の際に話題にしてもいいのかと。

C委員

答申の書き方も課によって違いますし、ヒアリングで聞いてみるというのもポイントかもしれない。

委員長

以上、「(1)令和元年度市民参加条例対象事業の評価についての審議は終わりにする。」

なお、本日訂正した評価シートについては、事務局で訂正し、後日各委員にメールで配布する。

次に「(2)その他」について。事務局が説明する。

事務局

次に第3回市民参加推進委員会で実施する意見交換会について説明する。

意見交換会は令和元年度に市民参加手続きを実施した事業担当課4課から「市民参加手続きの業務に関わったことのある」職員に参加していただくよう依頼している。

企画政策課、子ども家庭課、みどりの課、都市計画課に依頼をしている。実施時間は1時間程度を検討している。

本日は前回に引き続き意見交換会の内容についてご審議いただきたいと思う。

委員長

それでは審議をする。ご意見のある方どうぞ。

1つは1時間ほどとおっしゃったので7月31日の1時間ということは残りの1時間は我々だけで何かするのか。

事務局

残りの1時間はフィードバックという形で委員さんと職員の方で話した後で意見を聞いてどう思ったかフィードバックできればと思う。

委員長

基本的には1時間意見交換会1時間フィードバックということで。

議事録というか、意見交換会の記録というのはどうするか。通常議事録は公開するが公開はどうするか。

事務局

委員会での話は原則公開になっているが、ヒアリングの時のように名前を伏せて抜粋のような形でできればと。箇条書きのような形で公開できればと思います。事務局のほうからたたき台を出させていただくので委員さんに見ていただき意見をもらえればと思う。

D委員

率直な意見交換にしたほうが意味あると思うが、議事録を作成していると本音で話せないとと思う。もし、形式だけの議事録ならやらないほうが良いと思うので、できるのであれば議事録を作成せず公開もしない意見交換会が良いと思う。

C委員

意見交換会をやる目的をもう一度考えてほしい。そこが明確でないと議事録を作成するかどうか判断しにくい。

A 委員

意見交換会は全課一緒にということでよいか。

事務局

その通りである

A 委員

課をまたがってほかの課も聞いているということですね。

事務局

そうです。前年度の事業に対する意見交換なので市民参加手続きに携わったことについてお話しできればと思う。例えば審議会の差などその場で一気に聞ける。どういう考え方で審議会をやったかという、都市計画課だったら都市計画法に基づいて細かく諮詢答申をやっていますとかのお話しできると思う。

C 委員

何を伺うかに対する目的が明確なほうが良いと思う。

事務局

内容としてはこれから効果的な市民参加を運用するための意見交換会として考えている。この意見交換会を実施する背景としては各担当課の市民参加の水準はここ数年の一定値をクリアしている。そこからもう一步踏み込んでいくにあたって市民参加の手法の選択や、作業的になってしまっているところもあるので、ここでいうとB評価で。ある程度の水準は超えているが本当はもっとやるべきだった。やるべきことをやっていたか、どうやったらもう一步踏み始めたのか。踏み込み方も違う。そういうところも委員の皆さん流山市に住んでいる方なので、市民参加に携わってきた知識もあるのでその話も含めて職員とのギャップを解消できればと思う。その感想を答申に入れていいければと思う。

委員長

アンケートを取られた結果として不満もあるし、各課の率直な意見聞けたアンケートもよい。各課はどのように市民参加を考えているのか聞いてもよい。普段やっているような形式だと諮詢されているみたいだと感想があったのでもう少し楽にやっていくのが趣旨だと思う。

C 委員

何のために市民参加をやるのか、市民参加をやる意味はなにかなど幅広くなるだろう。

A 委員

呼ぶ課をもう一度。

事務局

企画政策課、子ども家庭課、みどりの課、都市計画課。複数またがっていたかもあります。企画政策課については総合計画にかかわってきた職員にお声がけしている。子ども家庭課には子供をみんなで育む計画に携わってきた職員にお声がけしている。都市計画課については都市計画マスターplanの係、職員にお声がけしている。

補足で、今回お声かけさせていただくにあたって、直接職員にお話ししに行っている。どういう趣旨かは、評価の場ではなく各担当が何に困っていて実はやりにくさを感じているなど、生の声を基にしないとより良い市民参加の手続きの方法を考えられないというもの。評価でなく本当に生の声を聞かせてくださいという趣旨でご発言いただけ意見交換の場ですと直接お声掛けして、その反応としてはその形なら参加しやすいという反応をいただいた。ただ、名前が記録されているというところで参加しにくくなる可能性は0ではないですが、反応としては話しますという感じであった。

A 委員

今回初の試みなので成功するかわからないので、生の声を聴いてこちらも助言ができる、理解できるかもしれない。その意味では聞きたいと思う。それに支障があるなら作成しないほうが良いし、議事録が必要なら作成したほうが良いしその辺が難しい。こちらで決められるかどうかわからないが。

D 委員

こちらとしては議事録を作成したくない、本音で話せない。

事務局

私たちの経験から職員としてやはり議事録を作成するとなると言いづらくなる。正式な議事録ではなく一応記録としては残すが、公開しないということにしていけば職員の本音が聞けると思う。

委員長

それは可能なのか。

事務局

2時間の中で最初の1時間は正式な審議会ではなくて職員とのコミュニケーションを図るための会ということでやるのは問題ないと思う。そのあとは審議会として委員会を行い、議事録を作成すればいいと思う。

C 委員

計画を立てて実行し、書類を作って報告書を作つてという中で大変な手続きがあると思うので本音で話してもらいたい。

私は市民参加の制度で仕事をされる方も参加する市民もハッピーにならないといけないと思う。それで初めて制度となっていく。そのためにどうしたらいいか、手続き的な問題もありますが。本当に聞きたいのはやってよかったという、計画に直接反映できなかったけども参考になる意見をいただけたので次にこうしたいとかプラスの意見を。そのためにどうしたらいいかなど本音や苦労の部分を聞きたい。

D 委員

焦点を絞ったほうが良い

C 委員

私としてはそう思う。聞きたいことは皆違うと思う。

B 委員

私はC委員と反対です。アンケートの結果でネガティブな意見があったので、本音というか形骸化しているとか非効率的だとか感じているのか話してくれればと思う。ベースとしてはアンケートをやったうえでどう捉えたか、より良くするためにはどうしたらいいかとか踏み込んで聞けたらいいと思う。

D 委員

C委員とB委員の意見に大賛成で両面お聞きしたい。C委員の懸念通り論点が明確になっていないと1時間で結果を出すのは難しいと思う。例えば1時間なので4つくらいに論点絞ってお聞きしてみるとか。ショートルームに分けて1人から詳しく聞けるような会の運営を工夫してみるとか、やり方を工夫するのもいいと思う。

A 委員

1回目だから成功するのは難しいからダメだったら次に生かすようにやるのもいいと思う。意見がいろいろあるかもしれない。市役所の方も市民であるのでその気持ちを聞きたい。私たちも市民でありどのように思っているかを伝えたい。

副委員長

私は今回パブコメについて質問したが、今までパブリックコメントが話題になっていますし、意見を聞き出すのに疑問がある。各課どうとらえているか、やってよかったと言っていますし、市民から聞き出すためにどのような工夫をしたかというところをぜひ聞きたい。他の課参考になるような市民参加を促すような取り組みはどんなことをしているか。パブリックコメントについて今回案の縦覧というのがあるがそういうのが市民に浸透していっているのかという懸念がある。やっている側としてどう思っているのか。言葉など見直してみては。初めて7年になる。当初は市民参加というものがわからなかつたし、職員も初めての取り組みだった。その後市民にも浸透して一体となって市政を盛り立てていくような取り組みが出来てきた。7年目に当たって見直すいい機会になればいいと思う。

A 委員

同じこと繰り返しているのではなく次どうしていくか。

C 委員

パブリックコメントを実施する時期がおそらくほぼ計画が出来上がっていてやっている意味がないと指摘があったと思う。

A 委員

実際に市民参加について何かあるか聞くのか、D委員がおっしゃったように事前に議題を決めておくのかグループでやるのか1時間をどう有効に使うか

D 委員

自由な意見交換にしてしまうとグループを2つくらいに分けて半分ずつに分かれて7名での意見交換がいいと思う。前提として論点を、職員の皆さんからも聞きたいことがあると思うのでいくつか設定しておいて、先ほどの意見のように時間制限を設けて進めていく。できれば、ホワイトボードを置いて記録しながら

ら進めていくのはどうか。

副委員長

みどりの課のワークショップはポストイットを用意して意見出たら書いて張っていって最後に発表し、紹介していた。

A 委員

グループ分かれるなら最後統合しないといけない。

副委員長

まとめ役で課の職員が入って最後にわかるようにしていけばいいと思う。

事務局

ファシリテーターのような形で位置づいてみどりの課がやったと思う。

A 委員

一気にやるのが良いのか、分けてやるのが良いのか

D 委員

忙しい中でていただくのでできるだけお話を聞きたい。分けても結局 15 分くらいしか1人話せないので少なくともそれくらいはお聞きしたい。

A 委員

ホワイトボードで職員から書記をやっていただきたい。

C 委員

ある程度テーマを決めておく必要がある。

事務局

議事録の件ですけども、前半1時間に関しては審議なので非公開とすることはできる。市民に公開せず残りの1時間は一般的な形で公開ということで広報を後で直すので、2時からと書いてあるが市民向けの広報には3時以降と訂正して、議事録についても前半の意見交換については未審議のため非公開にするとし、残りの1時間は公開とすることはできる。

委員長

話をまとめると、今ネックになっているのは1時間というのと議題が広すぎるという2点があるが、2つに分けるのはいいと思う。そこで1時間しっかり話すのはできると思い、いろんなものを引き出せる。私は統合する必要ないと思う。次の1時間の審議が統合だと思う。意見交換はしっかり決まった人でやってもらい、統合するのは次の1時間と考えてもらえばいいと思う。

議題をどうするかですけども、今2つ考え方があって最初に決めてあらかじめ担当課に投げるというやり方。あと1時間いけるという考え方で、パブコメを切り口としてあとは任せると、2通りあると思う。もう少し決めるか最初パブコメあとは流れに任せるかどちらがよろしいか。

B 委員

パブコメだけにするはどうなのかと。パブコメに集約されているのが職員の皆さんはどう思っていられるのか。別の問題意識があるかもしれない。2つ3つ用意しておいて、それに沿って意見をいってもらうのはどうか。今まで出てきた内容としては、今の市民参加の問題点と今後の市民参加のあるべき姿など。

委員長

そのあたりが事前に必要な準備。

問題に感じていることとあるべき市民参加の2点をつかみに用意してください。それ以上の細かいことは当日意見を交換するということで。

2手に分かれてホワイトボードが2つあると良い。

事務局

ホワイトボードも付箋も模造紙も用意できる。

ファシリテーターというやり方は事務局で係長と私で別々について進行や書いていく。

委員長

そういう方向性でいきましょう

次回の意見交換会は諮問にそって実質的な市民参加のあり方をして実質とは何かをはなして答申にも活きると思う。

ヒアリングの時の印象が強く問い合わせられている印象があるので、こちらの指摘をしていただく機会になればいい。

何かお気づきの点はメールで。

事務局

まとめとして、意見交換会はグループとしては2つに分ける。内容は市民参加の問題点と市民参加のあるべき姿という点を事前に担当課のほうに伝えさせていただき、2つのテーマで進めていくので事前に考えを準備くださいと話を進める形。基本的には意見交換会の時間は未審議内容なので非公開とし、残りの1時間は一般公開という形で傍聴の希望があれば出られるような形式にさせていただければと思う。

後にメールでたたき台を送らせていただく。

委員長

以上で意見交換会についての審議を終了する。引き続き事務局が説明する。

事務局

次回の決定については7月31日(金)302,303会議室で14時から予定している。

委員長

以上で本日の議題は終了である。